

科目名(单元名) 看護学概論		配当時期 1年次前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 15時間	担当者 森 明広	
テーマと授業目標 ・看護師になるための看護の本質を学び、看護の理論について看護専門職者として必要な観点と考え方を理解する ・あらゆる看護の対象者に高い倫理感をもって健康に導くことが出来るように看護の主要概念を理解する ・看護の対象の理解と共に人間の成長発達について理解する ・健康のとらえ方と国民の健康状態について理解し、生活の全体像の把握ができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	森	看護とは A看護の本質 Keyword ブラインドウオーク	講義
2	2	森	看護の変遷(歴史) 看護の定義(看護理論家に見る看護) Keyword: チョーク	講義
3	2	森	B 看護の役割と機能 C 看護の継続性と情報共有 Keyword: 福岡県での体験から	講義
4	2	森	看護の対象の理解 A人間の「こころ」と「からだ」	講義
5	2	森	B 生涯発達し続ける存在としての人間 C 人間の暮らしの理解	講義
6	2	森	健康の捉え方と国民の健康状態 A なぜ国民の健康・生活の全体像把握が必要か B 健康のとらえ方 C 国民の健康の全体像	講義・演習
7	2	森	国民のライフサイクル 現代の日本人の健康と生活を考えるキーワード	講義・演習
8	1	森	病と障害と生活 (清水 哲さんのVTR)	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (50点)		
科目アピールポイント		看護を学ぶための基本的な知識や考え方や多くの看護理論について、長年の教育経験から、看護への興味・関心が持てるような講義として学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 看護学概論 基礎看護学(1)		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名 看護覚え書・看護の基本となるもの		現代社 日本看護協会出版		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ その他(				

科目名(単元名) 看護学概論		配当時期 1年次前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 15時間	担当者 藤原 綾子	3
テーマと授業目標 ・看護職の成立や養成制度について学ぶことができる ・看護倫理について考え、理解することができる ・看護におけるサービスやチーム医療について理解することができる ・医療事故について学ぶことができる				
	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藤原	ガイダンス 看護における倫理	講義
2	2	藤原	看護における倫理	講義
3	2	藤原	看護における倫理	講義
4	2	藤原	看護の提供者 看護提供の仕組み	講義
5	2	藤原	看護の提供者 看護提供の仕組み	講義
6	2	藤原	看護の提供者 看護提供の仕組み	講義
7	3	藤原	広がる看護の活動領域	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験:50点/100点中		
科目アピールポイント		看護を学ぶにあたって、看護の倫理や看護の提供の仕組み等について、長年の教育経験から、看護への興味・関心が持てるような講義として学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 看護学概論 基礎看護学(1)		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 共通基本技術論Ⅰ 看護技術の基本		配当時期 1年次前期 単位数 1単位(45時間) 時間数 4時間	担当者 小陣 あけみ	
テーマと授業目標 専門職としての看護実践は科学的な裏付けとともに、安全・安楽に行う必要がある。 1.技術とは何かを考え、看護技術の特徴が理解できる。 2.看護実践を適切に実践するための要素について学び、看護技術の基本が理解できる。 3.看護技術を実践するために必要な身だしなみができる。 4.感染予防対策として必要な衛生的な手洗い、マスクの装着の目的を理解し実施できる。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	小陣	①基礎看護学の構成・考え方について②技術とは何か③看護技術の特徴④看護技術の範囲⑤看護技術を適切に実践するための要素⑥看護技術の発展と修得のために	講義
2	2	小陣	①身だしなみについて ②衛生的な手洗い、マスク装着について	講義・演習
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		終講試験		
科目アピールポイント		専門職としての看護技術の特徴、範囲、実践に必要な知識や考え方を、豊富な臨床経験と教育の経験を踏まえた教員によって、よりわかりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト) 図書名：系統看護学講座 解剖生理学 系統看護学講座 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ 系統看護学講座 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ		出版元 医学書院 医学書院 医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 看護がみえる①基礎看護技術		出版元 メディックメディア		

科目名(単元名) 共通基本技術論Ⅰ		配当時期 1年次前期 単位数 1単位(15時間) 時間数 11時間	担当者 小林 幸路	
テーマと授業目標 ・コミュニケーションの意義と目的について理解できる ・コミュニケーションの構成要素と成立過程を理解する ・関係構築のためのコミュニケーションの基本を理解する ・効果的なコミュニケーションの実践を理解する ・コミュニケーション障害への対応を知る				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	小林	コミュニケーションの意義と目的 ①コミュニケーションとは ②看護・医療におけるコミュニケーション ③看護医療におけるコミュニケーションの重要性	講義
2	2	小林	コミュニケーションの構成要素と成立過程 ①コミュニケーション手段 ②構成要素と成立過程 ③ミスコミュニケーション ④看護専門職として備えるべきコミュニケーション能力向上のために	講義
3	2	小林	関係構築のためのコミュニケーションの基本 ①接近的コミュニケーションの原理 ②接近的行動の前提となる基本的な態度 ③接近的行動と非接近的行動 ④接近的コミュニケーションを成立させるためには	講義
4	2	小林	効果的なコミュニケーションの実践 ① 傾聴の技術 ② 情報収集の技術 ③ 説明の技術 ④ アサーティブネス	講義
5	3	小林	コミュニケーション障害への対応 ①コミュニケーションに障害のある人の特徴 ②言語的コミュニケーションに必要な身体機能 ③コミュニケーション障害のある人への対応	講義
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		看護の基本的な技術の土台となる人間関係を形成するためのコミュニケーション技術に必要な知識や対応を、豊富な臨床経験と教育の経験を踏まえた教員によって、よりわかりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 専門分野 基礎看護技術Ⅰ		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名: 医療者のためのコミュニケーション入門		精神看護出版		
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 共通基本技術論Ⅱ		配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	担当者 若佐 昌子	
テーマと授業目標 1.ヘルスアセスメントの意義と重要性について説明できる 2.バイタルサインに関する基礎知識について説明できる 3.呼吸器系・循環器系のフィジカルアセスメントについて理解できる 4.バイタルサインの測定が正しくできる 5.看護学生としてふさわしい態度で対象者に配慮できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	若佐	ヘルスアセスメント・フィジカルアセスメント・フィジカルイグザミネーションの概念	講義
2	2	若佐	脈拍のしくみと機能 脈拍測定の方法、注意点	講義・演習
3	2	若佐	体温調節のメカニズム 体温の正常・異常 体温測定	講義
4	2	若佐	呼吸に関する基礎知識 呼吸測定の方法、注意点	講義・演習
5	2	若佐	意識とは 意識障害とは	講義
6	2	若佐	血圧とは 血圧計の使用法 測定方法と留意点	講義
7	2	若佐	血圧測定	講義・演習
8	2	若佐	フィジカルアセスメントとは	講義
9	2	若佐	感覚機能アセスメント 1	講義
10	2	若佐	感覚機能アセスメント 2	講義
11	2	若佐	異常のアセスメント (フィジカルアセスメント)	講義
12	2	若佐	演習 バイタルサイン測定	演習
13	2	若佐	演習 バイタルサイン測定	演習
14	4	若佐	実技テスト バイタルサイン測定	テスト
15				
評価方法		終講試験 (60点) 技術試験 (40点)		
科目アピールポイント		看護の基本となるヘルスアセスメントの技術の特徴、範囲、実践に必要な知識や考え方を、豊富な臨床経験と教育の経験を踏まえた教員によって、よりわかりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 解剖生理学		医学書院		
系統看護学講座 基礎看護学② 基礎看護技術Ⅰ		医学書院		
系統看護学講座 基礎看護学③ 基礎看護技術Ⅱ		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・OHP ・(ビデオ) ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他(DVD)				

科目名(単元名) 生活援助技術論Ⅰ		配当時期 1年次前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	担当者 福田 都美恵	
テーマと授業目標				
活動・休息を整える援助技術を実施できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	福田	基本的活動の援助(基本的活動の基礎知識・体位)	講義
2	2	福田	移動(体位変換・歩行・移乗・移送)	講義・演習
3	2	福田	体位変換・保持	講義・演習
4	2	福田	歩行・移動介助	講義・演習
5	2	福田	車椅子での移送	講義・演習
6	2	福田	自動運動・他動運動の援助	講義・演習
7	2	福田	移乗介助	講義・演習
8	2	福田	ストレッチャー移送	講義・演習
9	2	福田	睡眠・休息の援助	講義・演習
10	2	福田	足浴	講義・演習
11	2	福田	足浴	講義・演習
12	2	福田	苦痛緩和・安楽確保の技術	講義・演習
13	2	福田	褥瘡	講義・演習
14	2	福田	ポジショニング	講義・演習
15	2	福田	まとめ	講義・演習
評価方法		筆記試験(60点) 技術試験(40点)		
科目アピールポイント		活動・休息を整える技術に必要な知識や移動などの援助技術を、豊富な臨床経験と教育の経験を踏まえた教員によって、よりわかりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護講座 専門分野Ⅰ 看護技術Ⅱ 基礎看護学③		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名: 看護が見える①基礎看護技術				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他(DVD)				

科目名(単元名) 生活援助技術論Ⅱ		配当時期 1年次前期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者 中嶋 千恵子	
テーマと授業目標				
・療養環境について理解し、その調整の技術を理解することができる ・対象者の安全・安楽・自立を考慮した環境調整について理解できる ・ベッドメイキングの基本技術を理解し、実施することができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	中嶋	環境についての基礎知識 ナイチンゲール―「看護覚え書」―	講義
2	2	中嶋	療養生活の環境・病室の環境のアセスメント	講義
3	2	中嶋	病室の環境のアセスメントと調整 - 基礎看護学実習Ⅰに向けて -	講義
4	2	中嶋	病室の環境 - 環境整備 -	講義・演習
5	2	中嶋	ベッドメイキングの基本（リネン類の特徴とたたみ方）	講義・演習
6	2	中嶋	演習：ベッドメイキング	講義・演習
7	2	中嶋	演習：ベッドメイキング	講義・演習
8	2	中嶋	演習：ベッドメイキング	講義・演習
9	2	中嶋	演習：ベッドメイキング	講義・演習
10	2	中嶋	演習：ベッドメイキング	講義・演習
11	2	中嶋	演習：ベッドメイキング	講義・演習
12	2	中嶋	技術試験についてのオリエンテーション	講義・演習
13	2	中嶋	技術試験	試験
14	2	中嶋	技術試験	試験
15	2	中嶋	技術の振り返り・まとめ	講義
評価方法		筆記試験 (60点) 技術試験 (40点)		
科目アピールポイント		療養環境を整える技術の実践に必要な知識や環境整備の技術を、豊富な臨床経験と教育の経験を踏まえた教員によって、よりわかりやすく学ぶことができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：基礎看護技術Ⅱ 基礎看護学③ 参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名：看護覚え書 F, ナイチンゲール 看護が見えるVol.1 基礎看護技術			出版元 医学書院 出版元 現代社 MEDICMEDIA	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ DVD ）				

科目名(単元名) 生活援助技術論Ⅲ		配当時期 1年次前期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者 藪本 喜代	
テーマと授業目標 1.皮膚・粘膜の構造と機能を知り、清潔援助の効果と全身への影響を理解する 2.清潔援助の方法選択の視点を理解し、それぞれの清潔援助の基礎知識と実際に学ぶ 3.衣生活の基本的知識を理解し、援助の実際と寝衣交換の手順を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藪本	清潔とは 病衣について	講義・演習
2	2	藪本	清潔とは 病衣について	講義・演習
3	2	藪本	寝衣交換手順	講義・演習
4	2	藪本	寝衣交換手順	講義・演習
5	2	藪本	全身清拭	講義・演習
6	2	藪本	全身清拭	講義・演習
7	2	藪本	洗髪	講義・演習
8	2	藪本	洗髪	講義・演習
9	2	藪本	陰部洗浄・口腔ケア	講義・演習
10	2	藪本	陰部洗浄・口腔ケア	講義・演習
11	2	藪本	手浴・足浴	講義・演習
12	2	藪本	手浴・足浴	講義・演習
13	2	藪本	技術試験	講義・演習
14	2	藪本	技術試験	講義・演習
15	2	藪本	ふり返り	講義・演習
評価方法		筆記試験60点 技術試験40点		
科目アピールポイント		清潔を保持するための生活援助技術に必要な知識や清潔ケアなどの援助技術を、豊富な臨床経験と教育の経験を踏まえた教員によって、よりわかりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 看護技術Ⅱ 基礎看護学③			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名 看護が見えるVol1 基礎看護技術			出版元 MEDIC MEDIA	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他(DVD				

科目名(単元名) 生活援助技術論Ⅳ		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 時間数 30時間	担当者 福田 都美恵	
テーマと授業目標				
人にとって食・排泄の援助ができる基礎的知識・技術を身につける				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	福田	食事援助の基礎知識：食事の意義 食事のアセスメント	講義
2	2	福田	栄養状態および食欲、摂取能力のアセスメント	講義
3	2	福田	演習：嚥下食(トロミ食)	演習
4	2	福田	食事介助の実際	講義
5	2	福田	摂取・嚥下障害 (DVD)	講義
6	2	福田	嚥下訓練	講義
7	2	福田	経鼻経管栄養法 PEG	講義
8	2	福田	中心静脈栄養法 排泄援助を受ける人の倫理	講義
9	2	福田	排泄援助を受ける人の患者心理と倫理的側面 自然排尿および自然排便の介助(基礎知識)	講義
10	2	福田	自然排尿および自然排便の介助 (トイレで排泄・ポータブルトイレ・症状排泄・おむつ交換)の援助	講義
11	2	福田	導尿(一時的・持続的導尿) 浣腸・摘便	講義
12	2	福田	演習：便器・尿器援助方法	演習
13	2	福田	演習：意識レベルのある人の陰部洗浄・おむつ交換	演習
14	2	福田	演習：意識レベル低下のある人の陰部洗浄・おむつ交換	演習
15	2	福田	演習：意識レベル低下のある人の陰部洗浄・おむつ交換(異常編)	演習
評価方法		筆記試験60点 技術試験40点		
科目アピールポイント		食・排泄を整えるための生活援助技術に必要な知識や排泄ケアなどの援助技術を、豊富な臨床経験と教育の経験を踏まえた教員によって、よりわかりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト) 図書名：系統看護学講座 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ 看護が見える① 基礎看護技術 看護が見える② 臨床看護技術			出版元 医学書院 医療情報科学研究所 医療情報科学研究所	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 診療補助技術論		配当時期 1年次後期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 30時間	担当者 鳥羽 義之	
テーマと授業目標 1.感染防止の技術について知る 2.安全確保の技術が解かる 3.与薬の技術がわかる 4.上記の技術を統合し、採血の技術を実施できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	鳥羽	院内感染防止対策（消毒 滅菌 感染予防の基本 エピネット）	講義
2	2	鳥羽	スタンダードプリコーション 滅菌手袋装着方法	講義・演習
3	2	鳥羽	滅菌と消毒（スポルディング分類） PPE装着手順 清潔操作	講義・演習
4	2	鳥羽	感染性廃棄物の取り扱い カテーテル血流感染対策	講義
5	2	鳥羽	安全確保の基礎知識 1999年2大医療事故の概要	講義
6	2	鳥羽	誤薬防止 6つのR	講義
7	2	鳥羽	患者誤認防止 誤薬防止の実際 抗がん剤曝露の防止	講義
8	2	鳥羽	放射線曝露の防止 転倒予防	講義
9	2	鳥羽	症状生機能管理技術 A.基礎知識 B.検体検査 血液 尿 便 喀痰	講義
10	2	鳥羽	C生体検査 モニタリング ①心電図検査 ②モニター ③SP02 モニター	講義
11	2	鳥羽	④血管留置カテーテルモニター 診察の介助 検査処置の介助	講義
12	2	鳥羽	検査処置の介助	講義
13	2	鳥羽	心電図検査デモスト	講義・演習
14	2	鳥羽	注射器接続 薬液の吸い上げ	演習
15	2	鳥羽	筋肉注射（シミュレータを用いて穿刺） 点滴（滴下確認 滴下計算） 三方活栓	演習
評価方法		終講試験（60点） 技術試験（40点）		
科目アピールポイント		看護の基本となる感染防止・安全確保や与薬を受ける人の援助技術を、豊富な臨床経験と教育での経験を生かした教員から、より実践的な指導を受け学ぶことができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 看護技術Ⅱ 基礎看護学②③			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名 看護が見えるVOL.2			出版元 MEDIC MEDIA	
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 臨床看護総論Ⅰ		配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	担当者 小陣 あけみ	
テーマと授業目標 ・各ライフサイクルの理解と看護がわかる ・生活と療養の場における対象者と家族の看護について理解できる ・各経過別における対象者・家族の特徴と看護について理解できる ・症状のメカニズムを基盤と死、基本的な思考過程(アセスメント・診断・援助方法)に添って看護援助を理解することが出来る				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	小陣	ライフサイクルからとらえた対象者と家族の健康上のニーズ ・各ライフサイクルの特徴の理解 ・各期の看護について	講義
2	2	小陣	家族の機能・生活と療養の場からとらえた対象者と家族の健康上のニーズ・家族とは?・健康とは?・健康の保持増進について	講義
3	2	小陣	急性期における看護 慢性期における看護	講義
4	2	小陣	リハビリテーション期における看護	講義
5	2	小陣	終末期における看護	講義
6	2	小陣	症状とは 呼吸に関連する症状を示す対象者への看護	講義
7	2	小陣	循環に関連する症状を示す対象者への看護	講義
8	2	小陣	栄養・代謝に関連する症状を示す対象者への看護	講義
9	2	小陣	排泄に関連する症状を示す対象者への看護	講義
10	2	小陣	活動と休息に関連する対象者への看護	講義
11	2	小陣	認知・知覚に関連する対象者の看護	講義
12	2	小陣	コーピングに関連する どう受け止めるかを考える	講義
13	2	小陣	安全、生体防御とは(グループワークにて)	講義
14	2	小陣	安楽に関連する症状を示す対象者への看護	講義
15	2	小陣	安全と安楽とは、皆で考え討議を実施	講義
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		経過別・主要症状別の看護に必要な基礎知識と技術を、豊富な臨床経験と教育の経験のある教員によって、より実践的にわかりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 臨床看護総論 基礎看護学④		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名 看護過程に沿った対症看護				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他(DVD)				

科目名(単元名) 臨床看護総論Ⅱ		配当時期 2年次前期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	担当者 北山 早苗	
テーマと授業目標 ・治療法を受ける対象者への看護について理解できる ・輸血・化学療法を受ける対象者への看護について理解できる ・救急時における患者の看護について理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	北山	輸液療法の目的 点滴滴下数と計算問題	講義
2	2	北山	輸液療法の特徴 輸血・化学療法	講義
3	2	北山	画像診断	講義
4	2	北山	放射線療法	講義
5	2	北山	ME機器とその原理	講義
6	2	北山	創傷管理・ストマケアを必要とする患者の看護	講義
7	2	北山	創傷管理・ストマケアを必要とする患者の看護	演習
8	2	北山	呼吸管理・救急処置	講義
9	2	北山	放射線療法を受ける患者の看護	演習
10	2	北山	手術療法を受ける患者の看護	講義 グループワーク
11	2	北山	集中治療を受ける患者の看護	講義 グループワーク
12	2	北山	呼吸管理・救急処置	演習・実技
13	2	北山	呼吸管理・救急処置	演習・実技
14	2	北山	呼吸管理・救急処置	演習・実技
15	2	北山	包帯法	講義・演習
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		あらゆる治療や処置特に創傷処置・創傷ケアを受ける患者の看護に必要な基礎知識と技術の実践を、臨床経験と教育の経験から実践的な指導を受け、学ぶことができる。また、医療機器の原理と実際の基礎知識を、MEとしての経験を通して、具体的な機材を提示していただき、より分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 臨床看護総論 基礎看護学④			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他(DVD)				

科目名(単元名) 看護過程展開技術論	配当時期 1年次後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	担当者 小陣 あけみ		
テーマと授業目標 1.看護実勢の基礎となる看護過程の意義を知り、対象者に必要な看護が科学的に展開できる技術を理解する 2.問題解決過程やクリティカルシンキング、リフレクション、倫理的判断といった看護過程の基盤となる考え方を理解する 3.看護理論の意味する内容について理解する 4.ペーパーペイシャントを用いて看護過程を展開することができる 5.対象の健康状態に応じた学習支援の特徴を理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	小陣	授業の概要の説明・看護記録の法的意義・看護過程の導入	講義
2	2	小陣	看護過程の基盤となる考え方 ①問題解決過程 ②看護過程の構成要素	講義
3	2	小陣	アセスメントの定義 アセスメント(情報の収集・情報の分析)	講義・演習
4	2	小陣	共同問題・看護診断	講義・演習
5	2	小陣	看護診断	講義・演習
6	2	小陣	看護目標(期待される結果)・実施・評価	講義・演習
7	2	小陣	ゴードンの機能的健康パターンの解説	講義・演習
8	2	小陣	事例紹介の説明 情報の分類	講義・演習
9	2	小陣	共同問題の分析	講義・実技
10	2	小陣	共同問題の分析 ゴードンの機能的健康パターン1・2	講義・実技
11	2	小陣	ゴードンの機能的健康パターン3・4	講義・実技
12	2	小陣	ゴードンの機能的健康パターン5・6・7・8	講義・実技
13	2	小陣	ゴードンの機能的健康パターン9・10・11	講義・実技
14	2	小陣	学習支援	講義
15	2	小陣	看護計画・評価・看護サマリー記入方法 まとめ	講義
評価方法			筆記試験(100点)	合計 100点
科目アピールポイント			ペーパーペイシャントをもとに看護過程展開技術の実際に必要な基礎知識と技術を、豊富な臨床経験と教育の経験からわかりやすく看護が展開できるように学ぶことができる。	
使用図書(テキスト)			出版元	
図書名: 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学②			医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)			出版元	
図書名: 看護が見える④ 看護過程				
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ (スライド) ・ CD ・ カセットテープ その他(グループワークとなることがあります)				

科目名(单元名) 地域・在宅看護総論		配当時期	2 年前期	担当者 長井 理治
		単位数	1 単位	
		時間数	30時間	
テーマと授業目標				
1.訪問看護の対象者とその家族を理解し、在宅看護を学ぶ 2.訪問看護を取り巻く制度や社資源を理解する 3.訪問看護師の役割とこれから求められることについて理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	長井	在宅看護の目的と特性	講義
2	2	長井	社会資源の活用	講義
3	2	長井	継続看護	講義
4	2	長井	多職種連携	講義
5	2	長井	多職種連携	講義
6	2	長井	海外における訪問看護	講義
7	2	長井	訪問看護師に求められること 精神科と訪問看護	講義
8	2	長井	地域包括ケアシステム	講義
9	2	長井	訪問看護について	講義
10	2	長井	在宅看護にかかわる制度について	講義
11	2	長井	訪問看護ステーションの利用について	講義
12	2	長井	ケアマネジメントと社会資源の活用	講義
13	2	長井	地域・在宅看護の事例紹介	講義
14	2	長井	地域・在宅看護過程の展開	講義・演習
15	2	長井	地域・在宅看護過程の展開とまとめ	講義
評価方法		筆記試験（100点）		
科目アピールポイント		地域・在宅看護の目的・対象・特性・変遷を知り、地域・在宅看護の展開について、ケアマネの資格を有する教員の豊富な経験を活かし、わかりやすく学ぶことができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：		出版元		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名		出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ （ビデオ） ・ スライド ・ CD ・ ケットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 地域・在宅看護 基本技術論Ⅰ		配当時期 2年後期 単位数 1単位 時間数 15時間	担当者 藤原 綾子	
テーマと授業目標 1. 接遇マナーの基本を理解し実践できる。 2. 病棟・病棟外・訪問での接遇のマナーの基本について理解し実践できる。 3. 日常生活の衣・食・住に必要な基本的知識と技術について習得する。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藤原	ガイダンス 接遇/マナーとは 生活のマナーについて	講義
2	2	藤原	病棟での接遇・マナーの基本	講義
3	2	藤原	病棟外での接遇・マナーの基本 ナースステーションでの接遇・マナーの基本	講義
4	2	藤原	技術試験①	試験
5	2	藤原	ナースステーションでの接遇・マナーの基本 訪問時のマナーについて	講義
6	2	藤原	日常生活の援助の演習	講義
7	2	藤原	日常生活の援助	演習
8	1	藤原	技術試験	技術試験
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(60点) 技術試験(40点)		
科目アピールポイント		地域・在宅看護や病院などの施設の接遇マナーの基本や日常生活の衣・食・住に必要な基本的知識と技術について、教員が従前の経験などを踏まえて、学生が実践できるようにわかりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト) 図書名: 事例から学ぶ 地域・在宅看護論 訪問時のお作法から実習のポイントまで 看護の現場ですぐに役に立つ 患者接遇のキホン せいかつの図鑑				出版元 医学書院 秀和システム 小学館
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 地域・在宅看護 基本技術論Ⅱ		配当時期	2 年後期		担当者 宮本 真弓
		単位数	1 単位		
		時間数	15時間		
テーマと授業目標 ・地域・在宅看護の身体的特徴について知る(認知症・身体フレイル・サルコペニア) ・介護では介入できない医療的ケアについてわかる ・地域・在宅での看取りの看護がわかる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	宮本	日常生活セルフケア		講義
2	2	宮本	人工呼吸器・在宅酸素・服薬援助		講義
3	2	宮本	膀胱カテーテル・経管栄養・褥瘡ケア		講義
4	2	宮本	認知症の看護		講義
5	2	宮本	脳血管疾患の看護		講義
6	2	宮本	緩和ケア		講義
7	2	宮本	難病のケア		講義
8	1	宮本	演習・まとめ		演習
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		筆記試験(100点)			
科目アピールポイント		地域・在宅における対象者の看護に必要な知識・技術について、実際の訪問看護の管理者の経験を踏まえて、より分かりやすく学ぶことができる。			
使用図書(テキスト)		出版元			
図書名:					
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()					

科目名(単元名) 地域・在宅看護 基本技術論Ⅲ		配当時期 2年後期 単位数 1単位 時間数 30時間	担当者 藤原 綾子	
テーマと授業目標 1. 保健・医療・福祉チームにおける看護師および多職種の役割について理解する。 2. 多職種と連携しながら多様な場で生活する人々へ看護を提供する必要性を理解する。				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藤原	多職種連携とは 多職種連携の必要性	講義
2	2	藤原	様々な会議、連携方法	講義
3	2	藤原	各職種の機能と役割(ケアマネージャー)	講義
4	2	藤原	各職種の機能と役割(リハビリ)	講義
5	2	藤原	各職種の機能と役割(薬剤師)	講義
6	2	藤原	各職種の機能と役割(管理栄養士)	講義
7	2	藤原	各職種の機能と役割(介護福祉士)	講義
8	2	藤原	各職種の機能と役割(相談員)	講義
9	2	藤原	事例の把握	グループワーク
10	2	藤原	退院に向けて必要な職種およびサービスについて考える	グループワーク
11	2	藤原	役割設定と準備	グループワーク
12	2	藤原	役割設定と準備	グループワーク
13	2	藤原	サービス担当者会議のロールプレイング	演習
14	2	藤原		演習
15	2	藤原	振り返り、まとめ	講義
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		地域・在宅における医療・保健・福祉チームにおける看護師および多職種の役割について理解し、多職種と連携協働しながら多様な場で生活する人々へ看護を提供する必要性について、臨地での経験を通して学んだことを、より分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト) 図書名： 実践 多職種連携教育 看護師のための多職種連携攻略本			出版元 中外医学社 (株)CBR	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 家族看護学		配当時期	2年後期	担当者 坂口 真紀子
		単位数	1単位	
		時間数	30時間	
テーマと授業目標 ・家族とは何かを明白にすることで、家族への看護の必要性を学ぶ ・現代の家族とその課題を考える ・家族看護における理論を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	坂口	家族看護とは	講義
2	2	坂口	家族看護の特徴	講義
3	2	坂口	家族看護の実践の場面	講義
4	2	坂口	家族とは	講義
5	2	坂口	家族構成	講義
6	2	坂口	家族機能	講義
7	2	坂口	現代の家族とその課題	講義
8	2	坂口	家族を理解するための理論	講義
9	2	坂口	家族の変化を把握するための理論	講義
10	2	坂口	家族に変化をもたらすための介入	講義
11	2	坂口	家族看護過程の方法	講義
12	2	坂口	家族看護の実践の場面	講義
13	2	坂口	さまざまな家族アセスメント	講義
14	2	坂口	事例に基づいて家族看護の実践を実施	演習
15	2	坂口	事例に基づいて家族看護の実践を実施	演習
評価方法			筆記試験(100点)	
科目アピールポイント			家族看護の必要性を理解し、家族全体を視野に入れた介入方法など、地域で実践している看護師から、実際の対象者とのかわりなどが、より分かるように学ぶことができる。	
使用図書(テキスト) 図書名: 家族看護学			出版元 医学書院	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 地域・在宅看護特論		配当時期 2年後期 単位数 1単位(15時間) 時間数 15時間	担当者 藤原 綾子		
テーマと授業目標 在宅で療養している対象者の事例を通して、在宅での看護過程の展開が実施できる用学習する					
授業回数	時間	講師	スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)		授業方法
1	2	藤原	在宅実践論のガイダンス 事例の紹介		講義
2	2	藤原	事例の情報を情報用紙に振り分ける		講義
3	2	藤原	5つの視点のアセスメント(1.健康状態のまとめ 2.日常生活 3.精神状態 4.家族介護者の介護能力 5.社会資源の活用)		講義
4	2	藤原	1.健康状態のまとめ発表 残りのパターンについて分析 グループワーク		講義 グループワーク
5	2	藤原	2.日常生活についての分析		講義・演習
6	2	藤原	3.家族介護者の介護力の分析		講義・演習
7	2	藤原	4.社会資源の活用の分析		講義・演習
8	1	藤原	看護計画の実施 (演習)		講義・演習
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		筆記試験(100点)			
科目アピールポイント		地域・在宅で療養しているペーパーペイシェントの看護過程の展開技術に必要な基礎知識と基本技術とその実践を、地域・在宅看護の臨床経験と教育の現場で学んだ教員からわかりやすく学ぶことができる。			
使用図書(テキスト)		出版元			
図書名: 系統看護学講座 統合 在宅看護論		医学書院			
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元			
図書名: よくわかる在宅看護論改訂第2版 角田直枝 学研		メジカルフレンド社			
関連図で理解する 在宅看護過程 正野 逸子ら					
使用予定の視聴覚機器					
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ					
その他 ()					

科目名(単元名) 成人看護学総論	配当時期		担当者	
	1年後期		若佐 昌子	
	単位数			
	時間数			
		1 単位		
		30時間		
テーマと授業目標				
1.成人看護学における基盤となる考え方や理論、方法論を理解する				
2.大人の生活や健康に関する最新の動向をキャッチし時代を生きる大人の健康を多角的にとらえる視点を持つ				
3.大人の多様な健康状態や健康問題に対応するための看護アプローチの基本的な考え方や方法を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	若佐	成人とは 対象理解・生活	講義 グループワーク
2	2	若佐	成人を取り巻く動向	講義 グループワーク
3	2	若佐	成人への看護アプローチの基本	講義 グループワーク
4	2	若佐	ヘルスプロモーション 健康を脅かす要因	講義 グループワーク
5	2	若佐	健康をおびやかす要因 健康の急激な破綻	講義 グループワーク
6	2	若佐	症状マネジメントにおける看護技術を理解できる 看護実践モデル 看護アプローチ	講義 グループワーク
7	2	若佐	急性期医療 慢性期医療	講義 グループワーク
8	2	若佐	慢性期医療 リハビリテーション	講義 グループワーク
9	2	若佐	人生の最期の時を支える看護 全人的苦痛(トータルペイン)とは	講義 グループワーク
10	2	若佐	1) エンパワメントーエデュケーション 2) セルフマネジメントを推進する看護技術	講義 グループワーク
11	2	若佐	治療過程にある患者への看護技術 1) 治療による身体侵襲から回復促進のための看護技術 2) 安全を援助する看護技術 3) 社会復帰にむけた看護技術	講義 グループワーク
12	2	若佐	4) ボディイメージ変化に対する看護技術 5) 日常生活再構築のための看護技術	講義 グループワーク
13	2	若佐	症状マネジメントにおける看護技術を理解できる 看護実践モデル 看護アプローチ	講義 グループワーク
14	2	若佐	移行支援とは	講義 グループワーク
15	2	若佐	移植・再生医療	講義 グループワーク
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		成人各期の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と成人期の人への関わる技術の実践を、臨床経験と教育の経験から実践的な指導を受け、学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ		医学書院		
成人看護学総論 成人看護学①				
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ		医学書院		
別巻 緩和ケア				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他()				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅰ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 14時間	担当者 中村 由希	
テーマと授業目標 内分泌・代謝疾患患者の持つ身体的特徴・心理・社会的特徴を知り、具体的な援助方法や看護展開について学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	中村	内分泌・代謝疾患患者の特徴と看護の役割について	講義
2	2	中村	内分泌・代謝器官の構造と機能について	講義
3	2	中村	内分泌疾患の理解と患者の看護 視床下部一下垂体疾患	講義
4	2	中村	内分泌疾患の理解と患者の看護 甲状腺疾患	講義
5	2	中村	代謝疾患の理解と患者の看護 糖尿病と看護	講義
6	2	中村	糖尿病・脂質異常症の患者の看護	講義
7	2	中村	事例による看護過程の展開 国家試験対策	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（47点／100点）		
科目アピールポイント		成人期にある人の内分泌・代謝機能に障害のある人の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術を、豊富な臨床経験のある指導者からより分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑥ 内分泌・代謝 図書名			出版元 医学書院	
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ DVD ）				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅰ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 16時間	担当者 湯浅 一二美	
テーマと授業目標 血液・造血器疾患患者の特徴と治療を理解し、地領管理を含む長期的な治療への専門的支援がわかる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	湯浅	血液・造血器疾患を持つ患者の特徴	講義
2	2	湯浅	主要症状を有する患者の看護 (貧血 出血傾向 易感染)	講義
3	2	湯浅	造血器腫瘍患者の意思決定支援 がん薬物療法と看護	講義
4	2	湯浅	白血病患者の看護	講義
5	2	湯浅	白血病患者の看護 造血幹細胞移植を受ける患者の看護	講義
6	2	湯浅	造血幹細胞移植を受ける患者の看護	講義
7	2	湯浅	悪性リンパ腫の患者の看護 (事例検討)	講義
8	2	湯浅	アレルギー・膠原病患者の看護	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (53点／100点)		
科目アピールポイント		成人期にある人の血液・膠原病・生体防御機能に障害のある人の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術を、豊富な臨床経験のある指導者からより分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学④ 成人看護学⑪			出版元 医学書院	
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅱ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 14時間	担当者 寺下 知子	
テーマと授業目標 1.呼吸器疾患の医療動向と看護が理解できる 2.症状に対する看護が理解できる 3.検査・治療を受ける患者の看護が理解できる 4.呼吸器治療の看護過程を展開することが出来る				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	寺下	医療動向と看護 呼吸器疾患の患者の特徴と看護の役割	講義
2	2	寺下	呼吸器の解剖生理 フィジカルアセスメント	講義
3	2	寺下	フィジカルアセスメント 疾患を持つ患者の経過と看護	講義
4	2	寺下	症状に対する看護	講義
5	2	寺下	検査・治療・処置を受ける患者の看護	講義
6	2	寺下	疾患を持つ患者の看護	講義
7	2	寺下	COPDの患者の看護過程	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(47点／100点)		
科目アピールポイント		成人期にある人の呼吸機能に障害のある人の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術を、豊富な臨床経験のある指導者からより分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 成人看護学② 図書名			出版元 医学書院	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド・CD ・カセットテープ その他(フィジカルアセスメントの授業時は聴診器を使用)				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅱ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 16時間	担当者 福田 都美恵	
テーマと授業目標 1)循環器疾患を持つ対象の経過別看護を理解できる 2)循環器疾患を持つ対象の症状に対する看護が理解できる 3)検査・治療を受ける循環器疾患を持つ対象への看護が理解できる 4)循環器疾患を持つ対象の看護過程を展開することが出来る				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	福田	循環器疾患患者の経過別看護 (急性期・回復期・慢性期・終末期)	講義
2	2	福田	循環器疾患を持つ対象の症状に対する看護 (胸痛・動機・失神)	講義
3	2	福田	検査・治療を受ける循環器疾患を持つ対象への看護 (心臓カテーテル検査・心電図検査・薬物療法)	講義
4	2	福田	循環器疾患を持つ対象の症状に対する看護 (浮腫・四肢の痛み)	講義
5	2	福田	循環器疾患を持つ対象の症状に対する看護 (呼吸困難・チアノーゼ)	講義
6	2	福田	循環器疾患を持つ対象の症状に対する看護 (心不全)	講義
7	2	福田	循環器疾患を持つ対象の看護過程の展開 (心筋梗塞後、心不全患者の看護過程)グループワーク	講義 グループワーク
8	2	福田	グループ発表	講義 グループワーク
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(53点／100点)		
科目アピールポイント		成人期にある人の循環機能に障害のある人の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術を、豊富な臨床経験のある指導者からより分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 成人看護学③ 図書名			出版元 医学書院	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ (スライド) ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅲ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 15時間	担当者 浅江 由美子	
テーマと授業目標 1) 消化器疾患患者の経過の特徴看護について理解できる 2) 消化器疾患患者に多く見られる症状の病態生理を踏まえ、症状に対する看護を理解できる 3) 消化器疾患をもつ患者の看護について理解できる 4) 消化器疾患を持つ患者の看護過程を展開できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	浅江	消化器疾患の特徴 消化器疾患経過別看護 消化器疾患症状に対する看護	講義
2	2	浅江	消化器症状を持つ患者の看護	講義
3	2	浅江	検査を受ける患者の看護	講義
4	2	浅江	消化器疾患の経過と看護 食道疾患 胃・十二指腸疾患	講義
5	2	浅江	消化器疾患の経過と看護 大腸・肝疾患	講義
6	2	浅江	消化器疾患の経過と看護 胆のう・膵臓	講義
7	2	浅江	膵臓疾患の経過と看護 看護過程 「胃潰瘍」	講義 グループワーク
8	2	浅江	看護過程発表	講義 グループワーク
9	2			
10	2			
11	2			
12	2			
13	2			
14	2			
15	2			
評価方法		筆記試験 (50点／100点)		
科目アピールポイント		成人期にある人の消化吸収・排泄機能に障害のある人の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術を、豊富な臨床経験のある指導者からより分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 出版元 医学書院 図書名 使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				



科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅲ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 15時間	担当者 北浦 明子	
テーマと授業目標 周手術期にある患者を身体・心理・社会的側面から全人的にとらえ 患者のニーズに沿った看護を理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	北浦	手術侵襲と生体反応	講義
2	2	北浦	創傷治癒 褥瘡	講義
3	2	北浦	術前アセスメント 術前検査 手術当日・前日の看護について	講義
4	2	北浦	消化器・腹部疾患患者の看護	講義
5	2	北浦	胃癌	講義
6	2	北浦	胃癌 (手術) 術後合併症 胃癌の看護	講義 グループワーク
7	2	北浦	ストーマケア	講義 グループワーク
8	1	北浦	看護過程発表	講義 グループワーク
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (50点／100点)		
科目アピールポイント		成人期にある人の消化吸收・排泄機能に障害のある人の外科的治療の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術を、豊富な臨床経験のある指導者からより分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 別巻 臨床外科看護各論			出版元	
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅳ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 14時間	担当者 中村 麻弥	
テーマと授業目標 1.運動器の働きを知り、運動器に障害を持つ患者の特徴を理解する。 2.運動器に障害を持つ患者に対する看護の役割を理解し、援助に必要な知識と技術をまなぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	中村	医療の動向と看護(人口推計と高齢化社会における問題・運動器疾患患者の看護における課題)	講義
2	2	中村	診断・検査と治療・処置 保存療法を受ける患者の看護	講義
3	2	中村	運動器疾患の看護 手術経過に応じた患者の看護	講義
4	2	中村	運動器疾患の看護 疾患を持つ患者の看護”	講義
5	2	中村	運動器疾患の看護 保存療法 患者の看護 松葉杖実習 せん妄	講義 演習
6	2	中村	手術を受ける患者の看護 疾患を持つ患者の経過と看護	講義
7	2	中村	大腿骨頸部骨折による人工骨頭 置換術後の患者の看護・事例展開	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(47点／100点)		
科目アピールポイント		成人期にある人の身体運動機能に障害のある人の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術を、豊富な臨床経験のある指導者からより分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 運動器 成人看護学⑩			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ その他(演習では松葉杖、車いすなどを使用する)				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅳ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 16時間	担当者 宮本 麻侑子	
テーマと授業目標 脳神経外科看護について理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	宮本	医療の動向と看護	講義
2	2	宮本	症状とその病態生理	講義
3	2	宮本	検査・診断と治療処置	講義
4	2	宮本	疾患の理解	講義
5	2	宮本	患者の看護 A～B	講義
6	2	宮本	患者の看護 C～D	講義
7	2	宮本	患者の看護 C～D	講義
8	2	宮本	患者体験 ～高齢者・片麻痺体験～	講義 演習
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 (53点／100点)		
科目アピールポイント		成人期にある人の脳神経機能に障害のある人の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術を、豊富な臨床経験のある指導者からより分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書 (テキスト) 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 脳神経			出版元 医学書院	
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(単元名) 成人臨床看護論Ⅴ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	担当者 若佐 昌子	
テーマと授業目標 ・腎・泌尿器疾患患者の特徴が理解できる・内科的治療と外科的治療の看護が理解できる ・近年、女性を取り巻く現状を知り、身体的問題、心理・社会的問題、家族の援助における看護の役割が理解できる・女性生殖器に起こる疾患・症状それに対する看護について、理解できる ・感覚器疾患による障害を理解する・感覚器の障害がある患者への必要な援助を理解する ・他の疾患との関連性を理解し、身体的・精神的・社会的に多方面に必要な援助を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	若佐	泌尿器系医療の動向と看護	講義
2	2	若佐	疾患の経過と看護(急性期)	講義
3	2	若佐	急性期患者の看護(下部尿路症状、検査)	講義
4	2	若佐	内科的治療を受ける患者の看護(急性期・慢性腎不全)	講義
5	2	若佐	内科的治療を受ける患者の看護(血液透析・腹膜透析)	講義
6	2	若佐	症例検討・発表	講義・演習
7	2	若佐	症例検討・発表	講義・演習
8	2	若佐	女性生殖器疾患患者の理解 ・患者の特徴・症状とその病態生理・診察・検査・治療	講義
9	2	若佐	女性生殖器疾患の理解と看護① 子宮疾患・周手術期の看護	講義
10	2	若佐	女性生殖器疾患の理解と看護② 子宮・卵巣疾患、化学療法、月 経困難、更年期障害、不妊症、性感染症	講義
11	2	若佐	乳房疾患の理解 診察・検査・治療	講義
12	2	若佐	目の看護を学ぶにあたって 眼科疾患患者の看護	講義
13	2	若佐	歯・口腔の感がを学ぶにあたって 口腔症状のある患者の看護 口腔ケア	講義
14	2	若佐	皮膚の看護を学ぶにあたって 皮膚疾患患者の看護 スキンケア	講義
15	2	若佐	耳鼻咽喉の看護を学ぶにあたって 耳鼻咽喉領域の患者の看護 摂食嚥下障害患者の看護	講義
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		成人期にある人の腎・泌尿器、感覚機能に障害のある人の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と看護を展開する技術を、豊富な臨床経験のある指導者からより分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)			出版元	
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器 成人看護学⑧			医学書院	
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 女性生殖器 成人看護学⑨			医学書院	
図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 ⑫皮膚 ⑬眼 ⑭耳鼻咽喉 ⑮歯・口腔			医学書院	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 老年看護学総論	配当時期	1 年後期		担当者 藪本 喜代
	単位数	1 単位		
	時間数	30時間		
テーマと授業目標				
1.加齢に伴う高齢者の生活と健康状態の変化について理解する 2. さまざまな健康状態にある高齢者と家族の生活及び健康を支える看護について理解する 3.高齢者を取り巻く社会制度および保健・医療・福祉の動向と諸問題を学び看護の役割を理解する 4.多様な生活の場で、高齢者の健康を支える看護について理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	藪本	高齢者の理解 ・高齢者とは・高齢者の特徴と理解	講義
2	2	藪本	高齢者の理解 ・生活歴についてのグループワーク ・高齢者にとっての健康	講義 グループワーク
3	2	藪本	高齢者の健康状態のアセスメント 高齢者にとってのQOL	講義
4	2	藪本	高齢者の加齢に伴う変化	講義
5	2	藪本	高齢者を取り巻く社会 ・高齢者の生活と家族	講義
6	2	藪本	高齢者を取り巻く社会 ・高齢者を支える制度	講義
7	2	藪本	介護保険制度	講義
8	2	藪本	介護保険サービス内容について	講義
9	2	藪本	長期療養施設 在宅サービス及び看護	講義
10	2	藪本	高齢者看護の特性 高齢者看護の倫理	講義
11	2	藪本	高齢者のアセスメントの特徴	講義
12	2	藪本	高齢者のバイタルサイン特性	講義
13	2	藪本	高齢者によくみられる疾患 高齢者の健康づくり	講義
14	2	藪本	高齢者の生活を支える看護	講義
15	2	藪本	高齢者理解のための実習	講義・演習
評価方法		筆記試験（100点）		
科目アピールポイント		高齢者の特徴や健康問題、健康を維持するために必要な基礎知識と老年期の人への関わる技術の実践を、豊富な臨床経験と教育経験から学んだ実践を分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：ナーシンググラフィカ 老年看護学①		メディカ出版		
高齢者の健康と障害				
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他 (DVD)				

科目名(単元名) 老年臨床看護論Ⅰ		配当時期	2 年前期	担当者 梅木 茂宣
		単位数	1 単位	
		時間数	15時間	
テーマと授業目標				
高齢者の身体的特徴、疾患を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	梅木	高齢者の生活・活動	講義
2	2	梅木	活動・補講・呼吸・循環器	講義
3	2	梅木	呼吸・循環器障害	講義
4	2	梅木	貧血・浮腫・パーキンソン病	講義
5	2	梅木	認知症・うつ・せん妄の臨床	講義
6	2	梅木	認知症・うつ・せん妄の臨床	講義
7	2	梅木	うつ病・せん妄の臨床	講義
8	1	梅木	うつ病・せん妄の臨床	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
科目アピールポイント		高齢者の特徴的な疾患・症状・治療に必要な基礎知識を教育の経験と臨床医としての経験からより具体的に解りやすく学ぶことができる。		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：				
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ				
その他 ()				

科目名(単元名) 老年臨床看護論Ⅱ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 26時間	担当者 俵内 晃子	
テーマと授業目標				
1.加齢に伴う心身機能の件化や老年期に特徴的な疾患・病態を理解し説明できる 2.高齢者の健康障害について、アセスメント方法や看護技術を理解し高齢者にとって質の高い看護実践を説明できる 3.高齢者が最後まで尊厳を持った、その人らしい生活を支える看護について理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	俵内	シラバスの説明 高齢者の食生活を支える看護 (前半)	講義
2	2	俵内	高齢者の食生活を支える看護 (後半) 排泄を支える看護	講義
3	2	俵内	高齢者の清潔・衣生活を支える看護	講義
4	2	俵内	高齢者の休息と活動を支える看護	講義
5	2	俵内	高齢者の歩行・移動を支える看護	講義
6	2	俵内	高齢者に特徴的な症状・疾患を支える看護	講義
7	2	俵内	高齢者の呼吸・循環機能障害を支える看護	講義
8	2	俵内	高齢者のうつ病・せん妄の看護	講義
9	2	俵内	治療を受ける高齢者の看護 薬物療法・手術療法	講義
10	2	俵内	高齢者の手術後せん妄 高齢者のリハビリ看護	講義
11	2	俵内	治療を受ける高齢者の看護 診察・検査・入院・行動制限	講義
12	2	俵内	終末期看護の実践	講義
13	2	俵内	高齢者看護のまとめ	講義
14				
15				
評価方法		筆記試験 (87点／100点)		
科目アピールポイント		老年期にある人の日常生活の健康問題を総合的に理解し、その人らしく生活するための看護が理解できるように、臨床で経験した教員によって、より具体的に解りやすく学ぶことができる。		
使用図書 (テキスト) 図書名：ナーシンググラフィカ 老年看護学① ナーシンググラフィカ 老年看護学②			出版元 メディカ出版	
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 (DVD)				

科目名(単元名) 老年臨床看護論Ⅱ		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 4時間	担当者 木尾 恭子	
テーマと授業目標 ・認知症の病態・症状を理解し、それに応じた看護がわかる ・実践に活かせるよう認知症高齢者とのコミュニケーションの基本、サポートシステムの理解ができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ (スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	木尾	・ 認知症の病態と要因 ・ 認知症の症状理解とケア	講義
2	2	木尾	・ 認知症高齢者とのコミュニケーションの基本 ・ 認知症高齢者家族への支援とサポートシステム ・ 認知症高齢者の人権と権利擁護	講義
3	2			
4	2			
5	2			
6	2			
7	2			
8	2			
9	2			
10	2			
11	2			
12	2			
13	2			
14				
15				
評価方法		筆記試験 (13点／100点)		
科目アピールポイント		認知機能に問題のある人の日常生活の健康問題を総合的に理解し、その人らしく生活するための、必要な基礎知識と看護を展開する技術を、認知症専門の臨床経験を持つ指導者から実践的な指導を受け、学ぶことができる。		
使用図書 (テキスト)		出版元		
図書名：ナーシンググラフィカ 老年看護学①		メディカ出版		
ナーシンググラフィカ 老年看護学②				
参考図書 (事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント		・ OHP		
その他 ()		・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ		

科目名(单元名) 老年看護学特論	配当時期 2年後期		担当者 藪本 喜代	
	単位数 1単位			
	時間数 15時間			
テーマと授業目標				
1.高齢者の健康障害について、基礎知識・方法論を用いて包括的なアセスメントができる 2.アセスメントをもとに、看護問題を抽出して、看護過程の展開ができる 3.高齢者の「もてる力」を引き出す生活技能重視の看護について考えられる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藪本	1. ガイダンス 2. 老年看護における看護過程の特徴	講義
2	2	藪本	病態生理・検査・治療について学習(GW)	講義 グループワーク
3	2	藪本	グループワークの発表 11パターンのアセスメント	講義・演習
4	2	藪本	1. ND発表 2. 目標、計画の立案	講義・演習
5	2	藪本	1. 援助目標、援助計画の立案	講義・演習
6	2	藪本	演習	講義・演習
7	2	藪本	演習	講義・演習
8	1	藪本	まとめ	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		高齢者のペーパーペイシェントの看護過程展開技術の実際の必要な基礎知識と技術の実践を、豊富な臨床経験から実践的な指導を受け学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 老年看護学概論		南江堂		
老年看護技術		南江堂		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名: 生活機能から見た老年看護過程		医学書院		
根拠と事故防止から見た老年看護技術		医学書院		
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ ケットテープ				
その他()				

科目名(单元名) 小児看護学総論	配当時期	2 年前期		担当者 合田 友美
	単位数	1 単位		
	時間数	30時間		
テーマと授業目標				
1.小児看護の概念を説明できる 2.成長・発達に応じた小児と家族への看護を述べられる 3.健康問題や社会・医療・福祉の現状を学び、小児看護の基本的な考え方を適用できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	合田	小児看護の特徴	講義・演習
2	2	合田	小児看護の理念	講義・演習
3	2	合田	新生児	講義・演習
4	2	合田	乳児・幼児	講義・演習
5	2	合田	幼児・学童	講義・演習
6	2	合田	思春期・青年期	講義・演習
7	2	合田	家族の特徴取り巻く社会	講義・演習
8	2	合田	小児を取り巻く環境と医療 小児の権利と小児看護	講義・演習
9	2	合田	病気・障がいのある小児とその家族の理解と看護	講義・演習
10	2	合田	入院中の小児と家族の看護 外来における小児と家族の看護	講義・演習
11	2	合田	症状を示す小児の看護	講義・演習
12	2	合田	小児における疾病の経過と看護1 急性期の看護	講義・演習
13	2	合田	小児における疾病の経過と看護1 周手術期の看護	講義・演習
14	2	合田	小児における疾病の経過と看護2 慢性期・終末期の看護	講義・演習
15	2	合田	検査・処置を受ける小児と家族の看護	講義・演習
評価方法		筆記試験（100点）		
科目アピールポイント		小児各期の特徴を理解し、成長・発達及び健康状態に応じた子どもと家族に対する看護を、小児の臨床経験から実践的なアプローチの方法も学び、大学で教育する内容での教授を同じように受け、わかりやすく学ぶことができる。		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：系統看護学講座 小児看護学概論		医学書院		
		小児臨床看護総論		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名：				
授業毎に紹介させていただきます				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント)		・ OHP ・ (ビデオ) ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ		
その他（		）		

科目名(単元名) 小児臨床看護論Ⅰ		配当時期 2 年次後期 単位数 1 単位 時間数 30時間	担当者 松元 陽一	
テーマと授業目標				
小児の身体的特徴、小児に起こりやすい健康障害とその病態生理・治療・検査を学び、看護過程展開に必要な知識を習得する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	3	松元	先天異常～新生児	講義
2	3	松元	新生児～内分泌	講義
3	3	松元	内分泌～アレルギー	講義
4	3	松元	アレルギー～感染症	講義
5	4	松元	感染症～呼吸器	講義
6	3	松元	循環器	講義
7	4	松元	消化器	講義
8	4	松元	造血～悪性疾患	講義
9	3	松元	腎～神経	講義
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（100点）		
科目アピールポイント		小児の身体的特徴、小児に起こりやすい健康障害とその病態生理・治療・検査を、豊富な臨床医としての経験からより分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 別巻2 臨床外科看護各論			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 小児臨床看護論Ⅱ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 30時間	担当者 俵内 晃子	
テーマと授業目標 ・先天障害を持つ子供の成長・発達に応じた看護を理解する・疾患を持つ新生児の成長・発達に応じた看護を理解する・小児に起こりやすい自己、外傷と看護について理解する・虐待を受けた子供、親に対するケアの基本を理解する ・小児の代表的な健康障害の経過・症状・治療および看護についての知識を習得し、小児と家族への健康回復・保持・増進のための看護を理解することが出来る				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	俵内	先天異常・新生児の主な疾患と看護 ダウン・常染色体・性染色体 DVD	講義
2	2	俵内	疾患を持つ新生児の看護	講義
3	2	俵内	虐待・事故・外傷と看護	講義
4	2	俵内	内分泌疾患 1型DM 低身長	講義
5	2	俵内	気管支喘息 感染症 食物アレルギー	講義
6	2	俵内	ファロー四徴症・川崎病	講義
7	2	俵内	運動器疾患	講義
8	2	俵内	神経疾患	講義
9	2	俵内	感覚器疾患	講義
10	2	俵内	精神疾患	講義
11	2	俵内	呼吸器系疾患の小児と家族の看護	講義
12	2	俵内	免疫アレルギー系疾患の小児と家族の看護	講義
13	2	俵内	ファロー四徴症・川崎病	講義
14	2	俵内	腎・泌尿器系疾患の小児と家族の看護	講義
15	2	俵内	血液・造血器疾患・悪性新生物の小児と家族の看護	講義
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		健康障害が小児と家族に及ぼす影響について発達段階を踏まえて理解できるように、必要な基礎知識と看護を展開する技術を、小児の臨床経験と教育の経験からより分かりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト) 図書名: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護総論・小児臨床看護各論			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 小児看護学特論	配当時期 2年後期		担当者 俵内 晃子	
	単位数 1単位			
	時間数 15時間			
テーマと授業目標				
・健康障害のある小児の事例を通して、看護展開ができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	俵内	事例紹介・進め方・情報分類	講義
2	2	俵内	小児の特徴について	講義・演習
3	2	俵内	小児の疾患について	講義・演習
4	2	俵内	日常生活援助について	講義・演習
5	2	俵内	とりまくサポートについて 今後の方向性について	講義・演習
6	2	俵内	看護計画の立案・シミュレーション人形使用のバイタルサイン測定	講義・演習
7	2	俵内	シミュレーション人形使用のバイタルサイン測定実技 ・観察・環境	演習
8	1	俵内	シミュレーション人形使用のバイタルサイン測定実技 ・観察・環境	演習
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		小児の検査・治療を受けるペーパーペイシェントに必要な基礎知識と基本技術とその実践を、小児看護の臨床経験のある教員が、実践で学んだことを活かしてわかりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名：系統看護学講座 小児看護学概論		医学書院		
小児臨床看護総論		医学書院		
解剖生理学				
成人看護学③ 循環器				
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他 ()				

科目名(単元名) 母性看護学総論	配当時期		担当者	
	2 年前期		坂口 真紀子	
	単位数	1 単位		
	時間数	30時間		
テーマと授業目標				
・女性の健康についてライフサイクル「全体の中で考え、女性としての生き方を尊重し支え」と共に、健康の保持増進と母性機能を円滑に遂行していくための母性看護の役割・機能について総合的に理解する。また、母性看護の対象を取り巻く社会の変遷と現状を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	坂口	母性看護の主な概念と理論 「ミラクルオブラブ」DVD 母性看護の学習の視点 母性とは	講義
2	2	坂口	母性・父性・親性の発達 母子関係と家族発達	講義
3	2	坂口	母性看護の歴史的変遷と現状 母性看護を取り巻く環境・母性看護における安全、事故防止	講義
4	2	坂口	母子保健に関わる法律と施策	講義
5	2	坂口	母子保健統計の動向 母性看護の対象理解	講義
6	2	坂口	妊娠の成立 女性のライフサイクルにおける形態機能の変化	講義
7	2	坂口	母性・父性・親性の発達 前半のまとめ・プリント	講義
8	2	坂口	セクシャリティ・リプロダクティブヘルス/ライツ ウイメンズ・ヘルスプロモーション 倫理問題	講義 グループワーク
9	2	坂口	母性看護における看護過程 ウエルネスについて	講義
10	2	坂口	女性のライフステージ各期における看護 思春期	講義
11	2	坂口	女性のライフステージ各期における看護 成熟期 更年期 老年期	講義
12	2	坂口	リプロダクティブヘルスケア 家族計画 グループワーク	講義 グループワーク
13	2	坂口	リプロダクティブヘルスケア グループワーク	講義 グループワーク
14	2	坂口	グループワーク発表	講義 グループワーク
15	2	坂口	リプロダクティブヘルスケアまとめ まとめプリント	講義
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		リプロダクティブ・ヘルス/ライツ、ヘルスプロモーションの視点を踏まえ、ライフサイクルにおけるすべての女性への健康支援等について、多くの臨床経験のある教員から母性看護に必要な基礎的知識・技術について学ぶことができる。		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：専門分野Ⅱ 母性看護学（1）		医学書院		
母性看護学概論				
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名：専門分野Ⅱ 母性看護学（2）		医学書院		
母性看護学各論				
使用予定の視聴覚機器				
（パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・スライド ・CD ・カセットテープ				
その他（ ）				

科目No. S II 17 科目名(单元名) 母性臨床看護論 I 妊娠期		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 30時間		担当者 勝田 真理 小窪 幸子 坂口 真紀子	
テーマと授業目標 ・妊娠期の身体的・社会的変化を理解する ・妊娠と胎児の健康状態のアセスメントについて必要な情報を理解する ・分娩の経過に伴う身体変化お飛び心理・社会的変化が理解できる ・産婦の看護についてアセスメントでき、その援助が理解できる ・産婦・新生児の生理的变化を理解する ・産婦のセルフケア能力が維持・増進できる看護援助について理解できる ・産婦・新生児とその家族に対する援助が理解できる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	2	勝田	妊娠期の身体的特性 ・妊婦体験 ・ミラクルストーリー（DVD） ・赤ちゃんの大きさ・抱っこ体験		講義
2	2	勝田	胎盤計測 胎児の発育とその生理 グループワーク		講義 グループワーク
3	2	勝田	妊娠期の心理・社会的特性		講義
4	2	勝田	演習 レオポルド触診法、腹囲、子宮底、 胎盤計測、バースプラン		講義・演習
5	2	小窪	分娩について（ミラクルストーリー、分娩DVD視聴） 分娩の3要素について		講義
6	2	小窪	回旋・胎盤 分娩開始徴候		講義
7	2	小窪	分娩第1期～第4期の産婦の身体的変化、胎児状態		講義
8	2	小窪	分娩第1期～第4期の看護展開（グループワーク）		講義 グループワーク
9	2	坂口	産褥期の経過と産婦の健康状態アセスメント 進行性変化・退行性変化		講義
10	2	坂口	全身の変化 セルフケアと生活		講義
11	2	坂口	DVD 産褥期の育児支援・母乳育児支援 産婦の心理		講義
12	2	坂口	母乳育児支援・母親への適応過程 父親・家族の心理		講義
13	2	坂口	新生児の整理、DVD 新生児とは、健康状態のアセスメント		講義
14	2	坂口	新生児のアセスメント		講義
15	2	坂口	新生児の看護		講義
評価方法		終講試験			
科目アピールポイント		周産期（妊娠・分娩・産褥・新生児）に焦点を当て、子どもを産み育てる過程を中心に、母子及びその家族に対する援助が理解できるように、臨床経験の豊富な助産師が、実際の場面を想起できるようわかりやすく学ぶことができる。			
使用図書（テキスト） 図書名：専門分野Ⅱ 母性看護学（2） 母性看護学各論			出版元 医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）			出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ （ビデオ） ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）					

科目名(単元名) 母性臨床看護論Ⅱ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 10時間	担当者 中西 健太郎	
テーマと授業目標 妊娠、分娩、産褥、新生児の正常異常を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	中西	ハイリスク妊娠(妊娠期の感染症を中心に)	講義
2	2	中西	ハイリスク妊娠(妊娠高血圧症、感染症の続き、妊娠糖尿病)	講義
3	2	中西	妊娠期間の異常 分娩時の損傷	講義
4	2	中西	胎児付属物の異常 産道の異常	講義
5	2	中西	新生児の異常・不妊症 遺伝相談(カウンセリング)	講義
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(33点/100点)		
科目アピールポイント		周産期(妊娠・分娩・産褥・新生児)に焦点を当て、子どもを産み育てる過程を中心に、母子及びその家族に対する援助が理解できるように、臨床経験の豊富な助産師が、実践の場面を想起できるような講義で学ぶことができる。		
使用図書(テキスト) 図書名: 専門分野Ⅱ 母性看護学(2) 母性看護学各論			出版元 医学書院	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 病気が見える 産科			出版元 医学情報科学研究所	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他(プリント)				

科目名(単元名) 母性臨床看護論Ⅱ		配当時期 2年後期 単位数 1単位(30時間) 時間数 20時間	担当者 坂口 真紀子	
テーマと授業目標 ・母性看護学総論・母性臨床看護論で学習した知識を基礎と死周産期(妊娠・分娩・産褥・新生児)の異常に 焦点を当て、母子および家族に必要な看護を学ぶ ・不妊治療を受ける女性の心理・社会的特徴を理解し不妊治療への看護の理解を深める				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	坂口	妊娠期の異常と看護 ハイリスク妊婦の看護、合併症を有する妊婦の看護	講義
2	2	坂口	妊娠期の異常と看護 (切迫流産・妊娠糖尿病・妊娠高血圧・感染症)	講義
3	2	坂口	分娩期の異常と看護 分娩経過の逸脱と看護	講義
4	2	坂口	分娩期の異常と看護 胎児機能不全・分娩時の損傷と看護・プリント	講義
5	2	坂口	分娩期の異常と看護 弛緩出血 帝王切開	講義
6	2	坂口	新生児の異常と看護 新生児仮死 低出生体重児 特有の疾患と看護	講義
7	2	坂口	新生児の異常と看護 高ビリルビン血症児の看護、ビタミンK欠乏性出血症児の看護	講義
8	2	坂口	産褥の異常と看護 産褥熱・復古不全、血栓症を中心に	講義
9	2	坂口	産褥期の異常と看護 乳腺炎・感染症・精神障害 周産期におけるグリーフケア	講義
10	2	坂口	不妊治療を受ける患者の看護 まとめ	講義
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(67点/100点)		
科目アピールポイント		周産期(妊娠・分娩・産褥・新生児)に焦点を当て、子どもを産み育てる過程を中心に、母子 及びその家族に対する援助が理解できるように、臨床経験の豊富な助産師が、実践の場面を想 起できるような講義で学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 専門分野Ⅱ 母性看護学(2)				
母性看護学各論		医学書院		
母性看護技術		メジカルフレンド社		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
病気が見える 第2版 産科		医学情報科学研究所		
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他()				

科目名(単元名) 母性看護学特論	配当時期	2 年後期			担当者 坂口 真紀子
	単位数	1 単位			
	時間数	15時間			
テーマと授業目標					
事例を通して性と生殖に関する健康の保持増進に向けて、対象とその家族への基本的な援助ができる 女性のライフサイクルで特に母性機能の活発な時期の女性を、一礼ペーパーシュミレーションにて展開し、母 性実習の看護の展開に役立てる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	2	坂口	看護過程（ウエルネスの考え方） 妊娠期～産褥期、新生児期の情報分析のポイント		講義
2	2	坂口	妊娠期・分娩期の事例展開 グループワーク		講義 グループワーク
3	2	坂口	産褥期・新生児期の事例展開 グループワーク		講義 グループワーク
4	2	坂口	演習 （沐浴・更衣・抱き方・調乳）		講義・演習
5	2	坂口	技術 （レオポルド触診法、NST 腹囲子宮底長 新生児のバイタルサイン測定）		講義・演習
6	2	坂口	事例全体のまとめと質問		講義
7	3	坂口	・沐浴試験（技術試験） ・新生児のバイタルサイン測定		講義・演習
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		筆記試験（100点）			
科目アピールポイント		周産期の対象者のペーパーペイシェントの看護過程の展開に必要な基礎知識と基本技術とその実践を、母性看護の臨床経験のある教員が、実践で学んだことを活かし、わかりやすく学ぶことができる。			
使用図書（テキスト）			出版元		
図書名：専門分野Ⅱ 母性看護学（2）					
母性看護学概論 母性看護学各論			医学書院		
母性看護技術			メジカルフレンド社		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）			出版元		
母性看護学Ⅰ 妊娠・分娩			医歯薬出版株式会社		
母性看護学Ⅰ 産褥・新生児			医歯薬出版株式会社		
ウエルネスから見た母性看護過程			医学書院		
ウエルネス看護診断に基づく母性看護過程			医歯薬出版株式会社		
使用予定の視聴覚機器					
（ パワーポイント ） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ					
その他（ ）					

科目名(単元名) 精神看護学総論	配当時期 2 年前期		担当者 深井博文	
	単位数 1 単位			
	時間数 15時間			
テーマと授業目標				
1.現代社会における精神保健・看護のニーズの高まりの背景を知る				
2.精神科医療の世界的な動向と日本の現状をつかむ				
3.精神看護学の基本的な考え方および精神看護を実践する者としての視点や態度を学ぶ				
4.精神障害とは何か、その定義やとらえ方を学ぶ				
5.人格発達について代表的な理論がわかる				
6.精神疾患と障害、その歴史的な流れを理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	深井	精神障害とは(ICD10 DSM5) 日本における精神科の起源 イタリア バザーリア法	講義
2	2	深井	オープンダイアログ 精神科アウトリーチ (ACT-K)	講義
3	2	深井	ペプロウの理論(4つの段階 6つの役割) フロイト 精神力動論 局所論 構造論	講義
4	2	深井	フロイト心理学的発達理論・防衛機制 ユング心理学 集合的無意識 転移・逆転移	講義
5	2	深井	エリクソン 発達課題 ハビィガースト 発達課題 ハリースタックサリバン	講義
6	2	深井	ハリースタックサリバン cham ペプロウ プロセスレコード	講義
7	2	深井	プロセスレコード解説 精神保健福祉法の概要	講義
8	1	深井	隔離・拘束についての運用マニュアル 精神保健福祉の今後	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		すべてのライフサイクルにある対象者への精神看護の目的と役割・機能について、多くの臨床経験から学んだことを教育経験に活かし、精神看護に必要な知識・技術や看護理論について学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 精神看護学① 精神看護の基礎		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名 精神科看護の知識と実際		メディカ出版		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ				
その他()				

科目名(单元名) 精神保健論	配当時期 2 年前期		担当者 梶川 拓馬	
	単位数 1 単位			
	時間数 15時間			
テーマと授業目標 ・精神保健とは、精神の保健に関する学問であり、その精神的健康を維持・向上させる実践活動である。社会的・心理的ストレスにさらされ、不適応状態を起こすことが多い現代社会において精神的問題を学ぶことは不可欠のことである。 現在表れている現象面のみでなく、その背後にある個人の生活史や対人関係また発達課題上の問題から職場、学校、過程、地域などの生活の場を通して精神的危機の実際、災害精神保険活動などを理解し実践できるようにすることが必要である				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	4	梶川	セクシャリティと精神保健 医療現場の人間関係	講義
2	4	梶川	家庭における危機 医療現場における精神的ケアの実際	講義
3	4	梶川	がんと共に生きる人の精神保健 ホスピス 緩和ケア がんサバイバー がんサバイバーを支援する家庭のケア（オンライン授業）	講義
4	3	梶川	災害後の保健活動 看護職と心のケア 災害の及ぼす心理的影響 （オンライン講義）	講義
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（50点／100点）		
科目アピールポイント		正常な心の発達と・成熟・老化の推移と心の健康を維持するための援助やストレスや危機状況にある対象者と家族について、多くの臨床経験や大学での教育と同じように学ぶことができる。		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：太田 保之ほか編著 精神保健		医歯薬出版		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
（パワーポイント） ・ OHP ・ ビデオ ・ （スライド） ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(单元名) 精神保健論	配当時期 2 年前期		担当者 鳥羽 義之	
	単位数 1 単位			
	時間数 15時間			
テーマと授業目標 ・精神保健とは、精神の保健に関する学問であり、その精神的健康を維持・向上させる実践活動である。社会的・心理的ストレスにさらされ、不適応状態を起こすことが多い現代社会において精神的問題を学ぶことは不可欠のことである。 現在表れている現象面のみでなく、その背後にある個人の生活史や対人関係また発達課題上の問題から職場、学校、過程、地域などの生活の場を通して精神的危機の実際、災害精神保険活動などを理解し実践できるようにすることが必要である				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	4	鳥羽	社会病理について・心の構造と機能・精神障害者を理解するための理論について	講義
2	4	鳥羽	生活の場とクライシス 医療現場における精神危機	講義
3	4	鳥羽	アディクションと精神保健	講義
4	3	鳥羽	精神療法について コラージュ療法とその演習	講義・演習
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験（50点／100点）		
科目アピールポイント		正常な心の発達と・成熟・老化の推移と心の健康を維持するための援助やストレスや危機状況にある対象者と家族について、多くの精神科での臨床経験や教育現場での教育等からわかりやすく学ぶことができる。		
使用図書（テキスト）		出版元		
図書名：太田 保之ほか編著 精神保健		医歯薬出版		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書）		出版元		
図書名				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・ビデオ ・(スライド) ・CD ・カセットテープ				
その他 ()				

科目名(単元名) 精神臨床看護論		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 16時間	担当者 小牟田 淑子	
テーマと授業目標 1.精神看護の目的・機能および患者と看護師関係を理解する 2.精神に障害のある対象者の援助と暮らしの拡大と家族の援助について理解する 3.精神疾患と症状から看護介入を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	小牟田	精神障害者の理解と看護の基本 ケアの前提・原則・方法	講義
2	2	小牟田	患者看護師関係・プロセスレコードの書き方 ・患者とのかかわりから事故を理解する	講義
3	2	小牟田	対象の場面と医療の場 患者の行動や反応から患者を理解し看護を深める	講義
4	2	小牟田	回復の意味 回復のビジョンやプログラムを知り、援助を見出す	講義
5	2	小牟田	入院治療の目的と意味 患者家族にとって入院の影響・目的を知り、看護を見出す	講義
6	2	小牟田	治療的環境を作る 患者を取り巻く環境より看護介入する	講義
7	2	小牟田	精神科看護の実際 症状から見た看護介入	講義
8	2	小牟田	精神科看護の実際 症状から見た看護介入	講義
9	2			
10	2			
11	2			
12	2			
13	2			
14	2			
15	2			
評価方法		筆記試験（53点／100点）		
科目アピールポイント		精神に障がいのある対象者と家族への援助について必要な基本的な知識・技術、特に治療的コミュニケーションが身につくことができるように、精神科の看護師が臨床の現場での経験を踏まえてわかりやすく学ぶことができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：精神看護学② 精神看護の展開 精神科看護の知識と実際			出版元 医学書院 メディカ出版	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 精神臨床看護論		配当時期 2 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 14時間	担当者 深井 博文	
テーマと授業目標 1.精神看護の目的・機能および患者と看護師関係を理解する 2.精神に障害のある対象者の援助と暮らしの拡大と家族の援助を理解する 3.精神疾患と症状から看護介入を理解する				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	深井	リスクマネジメントについて・行動制限（隔離・拘束）	講義
2	2	深井	自殺・暴力について	講義
3	2	深井	災害時のケア	講義
4	2	深井	精神科における身体のケア	講義
5	2	深井	日常生活から気をつける合併症	講義
6	2	深井	長期入院患者の地域移行について	講義
7	2	深井	社会資源・サービスについて	講義
8	2			
9	2			
10	2			
11	2			
12	2			
13	2			
14	2			
15	2			
評価方法		筆記試験（47点／100点）		
科目アピールポイント		精神に障がいのある対象者と家族への援助について必要な基本的な知識・技術、特に治療的コミュニケーションが身につくことができるように、精神科の臨床の現場で経験したことを踏まえて学ぶことができる。		
使用図書（テキスト） 図書名：精神看護学② 精神看護の展開 精神科看護の知識と実際			出版元 医学書院 メディカ出版	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名			出版元	
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 精神看護学特論		配当時期	担当者	
		2年後期	深井 博文	
		単位数		
		1単位		
		時間数	15時間	
テーマと授業目標				
精神障害を持つ人の基本的な看護が理解できる				
1.精神に障害のあるペーパーペイシェントの看護過程が展開できる				
2.被毒妄想のある模擬患者に与薬ができる				
3.5模擬患者に対して実施した看護の振り返りができる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	深井	オリエンテーション 統合失調症の対象の受け止め方 オレムアンダーウッドの理論の真意	講義
2	2	深井	症例 自己で看護過程展開を行う(共同問題)	講義
3	2	深井	症例 自己で看護過程展開を行う(共同問題)	講義
4	2	深井	症例 自己で看護過程展開を行う(看護問題)	講義
5	2	深井	症例 自己で看護過程展開を行う(看護問題) レポート提出	講義
6	2	深井	実習室にて 看護計画のシミュレーション (急性混乱 気分転換活動 非効果的治療計画管理)	演習
7	3	深井	実習室にて 看護計画のシミュレーション (急性混乱 気分転換活動 非効果的治療計画管理)	演習
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		精神に障がいがあるペーパーペイシェントの看護過程の展開に必要な基礎知識と基本技術を、精神科の臨床経験と教育の実践で学んだ教員が、わかりやすく実践的なイメージができるような学びができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学①		医学書院		
精神看護の基礎				
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名		出版元		
精神科看護の知識と実際		メディカ出版		
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・OHP ・(ビデオ) ・(スライド) ・CD ・カセットテープ				
その他()				

科目名(単元名) 看護研究		配当時期 3 年前期 単位数 1 単位 (30時間) 時間数 30時間	担当者 深井 博文	
テーマと授業目標 看護研究の意義を理解し、看護研究を科学的・系統的に行う方法の基礎を学ぶ				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	4	深井	研究とは何か。目的、オリエンテーション 課題を見つける。研究方法について	講義
2	4	深井	著名な理論家の看護のメタパラダイム調べ	講義
3	4	深井	文献検索の方法 パソコン室での検索	講義
4	4	深井	論文の批判的吟味 文献一覧表の作成	講義
5	4	深井	文献まとめ	講義
6	4	深井	看護をまとめる (パソコンを用いて実習資料からのフォーマット用紙への入力)	講義・演習
7	4	深井	看護をまとめる (私の考える看護 小論文作成)	演習
8	2	深井	看護をまとめる (私の考える看護 小論文作成)	講義・演習
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験 100点		
科目アピールポイント		実践した看護を振り返り、ケーススタディとしてまとめることを、教員の経験から看護理論等を活用できるように指導をすることで、自己の看護について振り返り、自己の看護を深めることの学びができる。		
使用図書(テキスト) 図書名：川村佐和子編 ナーシンググラフィカ基礎看護学④看護研究			出版元 メディカ出版	
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名：文献レビューの基本			出版元 医歯薬出版株式会社	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他 ()				

科目名(单元名) 感染看護論	配当時期 2年後期		担当者 藤本 憲明	
	単位数 1単位			
	時間数 15時間			
テーマと授業目標 看護における重要な感染予防対策 目標 看護業務における感染予防対策や法律に関する知識を習得できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	藤本	感染対策の必要性	講義
2	2	藤本	標準予防策・感染経路別予防策	講義
3	2	藤本	洗浄・消毒・滅菌 感染症法	講義
4	2	藤本	予防接種法 職業感染症防止	講義
5	2	藤本	感染症別看護	講義
6	2	藤本	感染症別看護	講義
7	1	藤本	感染症別看護	講義
8	2	藤本	医療関連感染症	講義
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		感染に関する看護の役割と機能を学び、感染管理について、感染の認定看護で学んだ知識から感染の動向や感染防止の技術や対策など、より専門的に学ぶことができる。		
使用図書(テキスト) 図書名: 国民衛生の動向		出版元 厚生労働統計評価		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書) 図書名: 微生物・薬理学の教科書		出版元		
使用予定の視聴覚機器 (パワーポイント) ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他()				

科目名(単元名) 災害看護論	配当時期	2 年後期			担当者 山上 富子
	単位数	1 単位			
	時間数	15時間			
テーマと授業目標 災害の種類と被害、疾患の特徴などの基礎知識を理解する 災害サイクルの各期における具体的な看護活動を理解する 災害時のストレスについて理解する 被災地での看護活動について理解できる					
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）		授業方法
1	2	山上	災害の定義、分類、疾病構造、災害サイクル 自助・互助・共助について		講義
2	2	山上	災害看護について 災害用配慮者について 災害と情報について 災害 医療に関する法律について		講義
3	2	山上	災害看護の対象と特徴 災害サイクル GSCATTTについて		講義
4	2	山上	一次トリアージについて 二次トリアージについて		講義
5	2	山上	外傷について外傷初期診療について		講義
6	2	山上	発災時のゾーニングについて 一次トリアージの復習 亜急性期について		講義
7	3	山上	心のケア 遺体について		講義
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法		筆記試験（100点）			
科目アピールポイント		災害看護の定義と分類や看護の果たす役割を知り、災害前後の看護の看護活動に必要な知識と技術、他職種との連携など、緊急で救急対応の必要な臨床での経験を踏まえて、より分かりやすく学ぶことができる。			
使用図書（テキスト） 図書名：災害看護学・国際看護学			出版元 医学書院		
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名：			出版元		
使用予定の視聴覚機器 （パワーポイント） ・OHP ・ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）					

科目名(単元名) 看護管理論	配当時期	担当者		
	3 年前期			
	単位数	太田 和江		
	1 単位			
	時間数			
	15時間			
テーマと授業目標				
テーマ:チーム・組織の一員として活動する看護職に必須である「マネジメント」は看護の質を保ち看護を提供することが出来ることを知る				
学習目標:看護管理の考え方、とらえ方が理解できる。組織マネジメント、キャリアマネジメント、ケアマネジメント、サービスマネジメントについて理解できる				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	太田	看護管理とその変遷	講義
2	2	太田	看護ケアマネジメント(権利の尊重 安全管理)	講義
3	2	太田	日常業務のマネジメント(チーム医療 看護業務基準)	講義
4	2	太田	日常業務のマネジメント(タイムマネジメント 多重課題)	講義
5	2	太田	看護職のキャリアマネジメント	講義
6	3	太田	看護サービスマネジメント (人的資源 物的資源 情報管理 評価)	講義
7	2	太田	経営管理論	講義
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
評価方法		筆記試験(100点)		
科目アピールポイント		あらゆる場で看護職者が自らの役割を果たし、機能を発揮するために必要となる看護管理の基本的知識・技術について、臨床の現場と看護教員としての経験を活かし、あらゆる看護マネジメントの必要性をより具体的にわかりやすく学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 系統看護学講座 看護管理		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名:				
使用予定の視聴覚機器				
パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ				
その他(DVD)				

科目名(单元名) 臨床看護の実践Ⅰ	配当時期 2 年後期		担当者 北山 早苗	
	単位数 1 単位 (30時間)			
	時間数 30時間			
テーマと授業目標 1. 各領域の看護特論の事例に基づき、対象に応じた看護技術の実践を原理・原則を踏まえつつ状況や場に応じた看護技術を実践できる能力を養う				
授業回数	時間	講師	授業の流れ（スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画）	授業方法
1	2	北山	成人・老年看護特論：演習の説明・事例に基づいた演習	講義・演習
2	2	北山	成人・老年看護特論：事例に基づいた演習	講義・演習
3	2	北山	成人・老年看護特論：異常時のアセスメント・援助、まとめ	講義・実技
4	2	北山	小児看護特論：演習の説明・事例に基づいた演習	講義・実技
5	2	北山	小児看護特論：事例に基づいた演習	講義・演習
6	2	北山	小児看護特論：事例に基づいた演習、まとめ	講義・実技
7	2	北山	母性看護特論：演習の説明、事例に基づいた演習	講義・実技
8	2	北山	母性看護特論：事例に基づいた演習	講義・演習
9	2	北山	母性看護特論：事例に基づいた演習、まとめ	講義・演習
10	2	北山	精神看護特論：演習の説明、事例に基づいた演習	講義・演習
11	2	北山	精神看護特論：事例に基づいた演習	講義・実技
12	2	北山	精神看護特論：感情の変化に応じたアセスメント・援助・まとめ	講義・実技
13	2	北山	地域・在宅看護特論：演習の説明、事例に基づいた演習	講義・演習
14	2	北山	地域・在宅看護特論：異常時のアセスメント・援助	講義・演習
15	2	北山	地域・在宅看護特論：異常時のアセスメント・援助 まとめ	講義・演習
評価方法			技術試験(100点)	
科目アピールポイント			原理・原則を踏まえつつ、状況や場を考慮し、対象者に応じた看護技術の実 際を、各領域学んだシミュレーションの内容をもとに演習を行う。各領域の 臨床経験のある教員が、それぞれの経験や豊富な知識を踏まえて、臨床判断 能力を身につけることができる学びができる。	
使用図書（テキスト） 図書名：			出版元 医学書院	
参考図書（事前事後に読んだ方がよい図書） 図書名：			出版元	
使用予定の視聴覚機器 パワーポイント ・ OHP ・ ビデオ ・ スライド ・ CD ・ カセットテープ その他（ ）				

科目名(単元名) 臨床看護の実践Ⅱ	配当時期 2年後期		担当者 森 明広	
	単位数 1単位			
	時間数 30時間			
テーマと授業目標 1.原理原則を踏まえつつ、状況や場を考慮し、対象者に応じた看護技術を安全に実践できる 1)対象者の状況から異変に気づき、速やかにアセスメントし、対象者の状況に応じた援助を見出すことができる 2)急変時の状況をアセスメントし、対象者を安全に守る看護技術を実践することが出来る				
授業回数	時間	講師	授業の流れ(スケジュール・目標・テーマ・内容等の計画)	授業方法
1	2	森	1. 臨床看護の実践のねらい 2. シミュレーション学習について	講義・演習
2	2	森	1. シミュレーション学習 環境整備	講義・演習
3	2	森	1. シミュレーション学習 2. 移動・輸液を受ける患者の看護	講義・演習
4	2	森	1. 課題に基づいたグループワーク	講義 グループワーク
5	2	森	1. 課題に基づいた演習・発表	講義・演習
6	2	森	1. 課題に基づいた演習・発表	講義・演習
7	2	森	1. 複数受け持ちのシミュレーション	講義・演習
8	2	森	1. 包帯法 2. 転倒時のシミュレーション	講義・演習
9	2	森	1. 転倒時のシミュレーション 2. まとめ	講義・演習
10	2	森	1. 吐血時のシミュレーション	講義・演習
11	2	森	1. 転倒時のデブリフィング	講義・演習
12	2	森	1. 窒息患者への対応	講義・演習
13	2	森	1. 試験の準備・演習	講義・演習
14	2	森	技術試験	試験
15	2	森	技術試験	試験
評価方法		技術試験(100点)		
科目アピールポイント		原理・原則を踏まえつつ、状況や場を考慮し、対象に応じた看護技術を安全に実施できるように、実習指導場面や多くの経験を踏まえて、シミュレーションを交えて実践しながらでの技術を学ぶことができる。		
使用図書(テキスト)		出版元		
図書名: 解剖生理学、病理学、基礎看護技術 各系統別看護テキスト・臨床外科看護総論		医学書院		
参考図書(事前事後に読んだ方がよい図書)		出版元		
図書名: 目で見る体のメカニズム				
使用予定の視聴覚機器				
(パワーポイント) ・ OHP ・ (ビデオ) ・ スライド ・ CD ・ ケットテープ その他 ()				